

2023年1月15日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうきょうかい</sup>久宝教会  
第65巻第39号(通算3321号)  
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう  
週報

教会標語

<sup>かみさま</sup>神様がすべての人<sup>ひと</sup>と共<sup>とも</sup>におられる  
ことを証<sup>あかし</sup>ししていく教会<sup>きょうかい</sup>



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)



こうたんせつだい しゅうじつれいはい  
降誕節第4主日礼拝

<sup>れいはい</sup>《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
<sup>しちやう</sup>ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

<sup>ぜん そう もくとう</sup>前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

<sup>まね ことば</sup>招きの詞 <sup>しよ</sup>イザヤ書 <sup>しやう せつ</sup>40章 9-11節

<sup>さんびか</sup>賛美歌『こどもさんびか改訂版』99番「ふるいものはみな」(©教団出版局)

<sup>せい しよ</sup>聖書 <sup>しゆつ き</sup>出エジプト記 <sup>しやう せつ</sup>18章 13-27節

お祈り

<sup>さんびか</sup>賛美歌 21-452番「神は私を救い出された」(©JASRAC)

メッセージ「一人では負いきれないけど、必ず隣有り」牛田 匡 牧師

<sup>さんびか</sup>賛美歌 21-448番「お招きに応えました」(©JASRAC)

<sup>しゆ いの</sup>主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物 (\*)

<sup>は けん</sup>派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

<sup>しゆく ふく</sup>祝福 <sup>うしだ ただし ぼくし</sup>牛田 匡 牧師

<sup>こう そう</sup>後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

<sup>ほう こく</sup>報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

<sup>うけつけ けんきんばこ</sup>受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 イザヤ書 40章 9-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 9 高い山に登れ／シオンに良い知らせを伝える者よ。／力の限り声を上げよ／エルサレムに良い知らせを伝える者よ。／声を上げよ、恐れるな。／ユダの各地の町に言え。／「見よ、あなたがたの神を。」
- 10 見よ、主なる神は力を帯びて来られ／御腕によって統治される。／見よ、その報いは主と共にあり／その報酬は御前にある。
- 11 主は羊飼いのようにその群れを飼い／その腕に小羊を集めて、懐に抱き／乳を飲ませる羊を導く。

聖書 出エジプト記 18章 13-27節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 13 翌日になると、モーセは座に着いて民を裁いたが、民は朝から晩までモーセのそばで立って待っていた。14 モーセの舅は、彼が民のために行っているすべてのことを見て、言った。「あなたが民のためにこうして行っていることは何ですか。どうしてあなた一人が座に着いて、民は皆朝から夕方まであなたのそばで立っているのですか。」15 モーセは舅に言った。「民は、神に尋ねるために私のところに来るのです。16 彼らに問題が起こると、私のところにやって来ます。私は双方の間を裁いて、神の掟と律法を知らせます。」17 舅はモーセに言った。「あなたのやり方はよくない。18 あなたも、一緒にいるこの民も、きっと疲れ切ってしまう。これではあなたに負担がかかりすぎ、一人でそれを行うことはできない。19 さあ、進言するので、私の声に耳を傾けなさい。神があなたと共におられるように。あなたが民のために神の前に出て、彼らの問題を神に述べなさい。20 そして、あなたは掟と律法を彼らに示し、彼らの歩むべき道となすべき行いを知らせなさい。21 それからあなたは、すべての民の中から有能な人、神を畏れる人、誠実な人、不正な利益を憎む人を選び出し、千人隊の長、百人隊の長、五十人隊の長、十人隊の長として民の上に立てなさい。22 ふだんは彼らに民を裁かせ、大きな問題が生じたときだけ、あなたのところに持って来させ、小さな問題はすべて、彼らが裁くのです。こうしてあなたの負担を軽くし、彼らもあなたと共に分担するのです。23 もしあなたがこのやり方を実行し、神があなたに命じてくださるなら、あなたはその任に堪えることができ、この民も皆、安心して自分の場所に帰ることができるでしょう。」
- 24 モーセは舅の言葉を聞き入れ、すべて言われたとおりに行った。25 モーセは、全イスラエルの中から有能な人々を選び、千人隊の長、百人隊の長、五十人隊の長、十人隊の長といった民の頭として任命した。26 ふだんは彼らが民を裁き、難しい問題はモーセのところに持って来たが、小さなことはすべて、彼ら自身で裁いた。27 モーセは舅を見送り、舅は自分の地に帰って行った。

《先週のメッセージより》2023年1月8日 新年礼拝

「ただちにエジプトへ」より

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 2章13-15節

神の独り子であるイエスの誕生は、私たちから見れば世界の救い主にしてはあまりに質素で寂しいものだったが、幼子を訪問した羊飼いたちや東方の占星術の学者たちに代表されるような、底辺を這いずり回りながら懸命に生きている者たちや、いわれのない侮辱に耐えながら生きている者たちにとっては、「神はあなた方と共にいつもある」という明確な喜ばしいメッセージであったに違いない。彼らの訪問は、どんな権力者や金持ちの訪問にもまさる、心温かいものだったのであろう。

しかし、世界は救い主イエスをめぐって動き始めていた。マリアとイエスと共に眠るヨセフの枕元に、再び天使が立って言う。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている」(13)。ヨセフはその言葉にはっとして目覚めると、マリアを起こしてイエスを抱き上げ、夜のうちにベツレヘムを脱出する。その後、ヘロデ大王がベツレヘム周辺の2歳以下の男子の子を皆殺しにするという恐るべき出来事が起こったのだった。

私たちはこのヨセフのように対応できるだろうか。命の差し迫った危機こそなくとも、魂を滅ぼそうとする様々な誘惑や試練は私たちの周りに満ちている。私たちはその魂の危機を告げ知らせるみ告げを敏感に察知する耳を持っているか。私たちを滅ぼそうとするヘロデは政治的な権力者の姿をしているとは限らない。現代のヘロデは、私たちのあらゆる誘惑や災いの形をとって私たちの魂に手を伸ばそうとしている。その時私たちは、ヨセフのように飛び起きて夜のうちにエジプトへ逃げなければいけない。

では、私たちにとってのエジプトとはどこか。それはやはり教会なのではないか。自分にとっての逃れの地、エジプトは教会であった、教会に逃れることで癒され、慰められ、励まされ、力を与えられて魂の危機を救われたという方も実際にたくさんおられよう。そして同様に教会は、私たちだけのものでなく、少しでも多くのこの世の人々の魂が滅ぼされないためのエジプトでもあらねばならない。私たちは、私たちの愛すべき隣人の魂が危機に面しているとき、「すぐにエジプトへ逃げなさい」「すぐに教会へ行きなさい」と天使の代わりに告げることができる者になりたいと願う。そのためにまず、謙虚に聖書の御言葉に耳を傾け、キリストの宣べ伝えられた福音、またそこに流れている神様からのメッセージを改めて学んでゆくことから、この新しい年、心新たにはじめよう。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

YouTube



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 1月8日 新年礼拝

主日礼拝出席 大人6名 中継動画再生数 11回  
 献金 大人7,000円 感謝



◎次週 2023年1月22日(日) 降誕節第5主日礼拝

招きの詞 詩編 27編 1節  
 聖書 イザヤ書 9章 1-4節

メッセージ 「大いなる光」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-207番(©JASRAC)、21-280番(©JASRAC)、21-561番(©P.D.)

礼拝はインターネットで中継いたします。29日が河内地区講壇交換礼拝のために、1月の誕生者祝福式を22日に行います。礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもどうぞご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの流行が続く、大阪府の新型コロナ警戒信号は「赤色」になっています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・教会宛にクリスマスカードや年賀状が届いています。掲示板に掲示しています。
- ・次週1月22日(日) 午後枚岡教会にて予定されていた河内地区婦人会は、コロナ感染が拡大しているために延期になりました。
- ・1月29日(日)は河内地区の講壇交換礼拝として、枚岡教会の浅見覚牧師が来て下さいます。牛田牧師は枚岡教会に行きます。
- ・1月21日(土) 13:30~17:30に京都の関西セミナーハウスにて、音楽演奏&ワークショップ「ちむどんピース in 関西」が開催されます。参加費は無料です。お申し込みの期限は、1月20日(金) 17:00です。お申し込みと、ワークショップの詳細は、右のチラシの中にありますQRコードをご参照ください。もしくは、下記のURLをご参照ください。

<https://umanchu-heiwa.com/post-238/>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/22	岡嶋伝道師	誕生者祝福式・おにぎり支援
1/29	浅見牧師	(河内地区・枚岡教会との講談交換)
2/5	水谷牧師	聖餐式
2/12	牛田牧師	(信教の自由を守る日) 教会を考える会

沖縄県 (沖縄平和啓発プロモーション事業) 17 16

# ちむどんピース in 関西

沖繩のこころ  
 ~命の対話(音楽演奏&ワークショップ)~

2023年1月21日(土)  
 13:30~17:30 (定員30名) 無料

於: 関西セミナーハウス (京都市左京区一乗寺竹ノ内町23)

申込: 2023年1月20日(金)17:00まで  
 QRコードからお申込みください

本イベントについて

1部: ヴァイオリン奏者の大城敬博氏をお招きし、「沖縄戦を生き抜いた祖母のひと言から始まった『琉球ヴァイオリン』」の演奏とお話を紹介。

2部: 沖縄県より派遣された教員らによる平和教育に心がかり、教育に関わりのある皆様。

参加者について  
 平和教育に関心があり、教育に関わりのある皆様。

【お問合せ】 沖縄NGOセンター TEL:090-7989-9782 / Email: umanchu2022@gmail.com 【主催】 沖縄県子ども生活部 女性力・平和推進課 平和推進室  
 【協力】 関西セミナーハウス活動センター 関西教育研究所